



天神エスプレッソ

結婚しようよ。(女)
! (男)



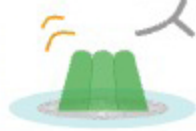
動画レポート

・お洒落に、気軽に。
これがスタイル
・花嫁よりも目立たなげや



デパチカクイーンズ

ゼリー



お昼のオアシス

生演奏を聴きながら
ラテンランチ



天神ぶらぶら

『GOOD. B』や
うきうきヘルシーランチの巻



みんなの広場

天神発！早耳映画情報

おやじのアンテナ

エスプレッソを片手に

天神エスプレッソ編集部

http://www.espre.jp/

info@espre.jp

092(715)5273



このマークがついている写真は、クリックすると動画で見ることができます。
ブロードバンド向けの映像です。Windows Media Player(無料)をダウンロードしてご覧下さい。

結婚しようよ。(女) !.....(男)

「女の幸せ＝結婚」という神話は、もはや完全に崩れ去り、「亭主関白」「玉の輿」という言葉もだんだんマイナー化しつつある。男女それぞれが自立した上で一緒に歩いていける人生のパートナー選び、それこそが、理想的な結婚スタイルなのだ。でも一方で「独身＝女失格」という図式も昔から不動なのが、何とも憎らしい。そして実は私、ただ今「結婚したい病」を患っている。人間誰しもある年齢になると、誰かと一緒に家族を作って生活を営む：そういう欲求が強烈に湧き出てくるものと思われる。

結婚しない生き方も十分ありだと思いが、やっぱり一度きりの人生。やれることは全て経験してみたいじゃないか！山あり谷ありの人生を、酸いも甘いも噛みわけて乗り越え、味わい深い老夫婦になれたら幸せだ。

最後に結婚式について一言。籍を入れるだけの地味婚もいけれど、せっかくなら一生に一度の主役になれる披露宴を経験するのもオススメ。男性諸君にしてみれば主役は花嫁だし、そのわりに何かと苦労も多かるうが、ぜひともその日は女性が存分に輝くように配慮して欲しい。タイトル「結婚しようよ(女)」に対して、「.....(男)」というのはいらんな意味が込められている。なかには策略にはまった方の無言の訴

えとか：その他もろもろ。でも結婚は、ゴールではなくスタート！縁ある人との出会いを大切にしたいものです。

♡お洒落に、気軽に。これがスタイル

ブライダルフェアを再現。会場見学、衣装試着、お料理試食を体験しました。結婚式って、大変だわ。

♡花嫁よりも目立たなきや

結婚式に出席する時って何着たらいいの？着物とドレスの2パターンで、ヘアセット、メイクと、全身コーディネートしてみました。必見です！

♡これで何度もしたくなる？

結婚式を川の上、宇宙？コスト0円で挙げたい人、オリジナルなブライダルギフトをインターネット



300K ▶



300K ▶

2Mはこちら ▶

▲花嫁よりも目立たなきや

▲お洒落に、気軽に。これがスタイル

で注文したい人、ウエディングプランナーに憧れている人...、必見情報です。
by T.E. staff

もっと詳しく見る

- ・お洒落に、気軽に。これがスタイル
- ・花嫁よりも目立たなきや
- ・これで何度もしたくなる？

天神優人

～あの人の素顔～



着心地よいコットンのジャケットが似合う清楚で上品な人。年を重ねることに自分らしさが香る、そんな外山さんが作るブーケを身につけて、いつか私も結婚式を挙げてみたい。そんな希望がわいたのでした。

by akiko kosaka

花活けに託す「私」という可能性

セントオプロローズ 外山 淑子 さん

彼女が理想とする花活けは、ルールを外したところに存在する。「花が持つ美しさを十分にひきだしてあげるお手伝いができればいい。何が素敵か綺麗かというのは意外と単純なことなので、そこにあえてルールを作らなくてもいいと思うんです」。「セント オブ ローズ」の経営や花活け教室をはじめ、イムズや博多リブレインなどでショーを開催するなど多彩な活躍で知られる外山さん。

しかし花活けとの出会いは、30代半ばに趣味で通った教室が最初だった。その後、本格的に花で生きていくことと決心したのが40代。それからは、興味のある講師のレッスンを受けるため、東京でもヨーロッパでも飛び出して行く日々が5、6年ほど続いた。その試行錯誤の中で巡り会ったのが、今もと仰ぐ「つちやまむねよし」さんだ。

「決まりごとが多いお花の世界で、ルールはいったん忘れて自分の信じるところの花活けをしようという考え方からウロコでした」。その考えは現在の店作りにも反映されている。従来の花屋の常識にとらわれず、服装も自分が

お花を活けてる時って、平和なんです。



自由な気持ちでいられるもの、花も季節を通して好きなものを仕入れる。「最終的には、自分というものを表現するのが花活け。だからいくら忙しくても、お花を活けている時って平和ですね。香りや植物が発する“気”によって、自分が元気をもらったか癒されたりするんですよ」。花の魅力を尋ねると「自然の持つ摂理にそって、人間と同じサイクルで、やがて朽ち果てていくところ」と静かですぐな視線が返ってきた。そこに秘められた一瞬の美を追いかけ、外山さんの花との語りはいくらからも続く。

「将来は九重あたりに引っ込んで庭でバラやハーブを育てながら、自然に囲まれて心やすらかに暮らしたいですね」信頼できるスタッフに囲まれて(左：長谷川詩さん、右：力丸道子さん)

目次へ

デパチカ ダイニング



ゼリー



福岡天神・大丸

店名 モロソフ

品名 赤い実のジュレ

価格 280円

赤いベリーがたくさんあって、クラッシュゼリーの下に濃厚なゼリーがぎっしり！甘酸っぱい爽やかなゼリーです。



岩田屋本館

店名 モロソフ

品名 やわらかファンシーメローゼリー
(バレンシアオレンジ)

価格 200円

果肉たっぷりのやわらかゼリー。
お昼のデザートにピッタリ。

ソラリアステージ

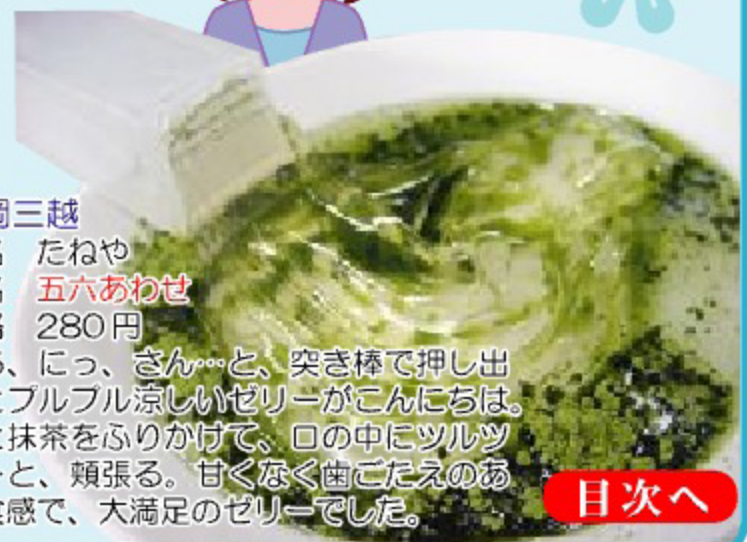
店名 sweet planet

品名 駄菓子

価格 160円/100g

(キャンディ・ゼリー系)

昔懐かしの駄菓子も今はこんなにポップ！一口食べると幼い頃にタイムスリップしちゃった!?



福岡三越

店名 たねや

品名 五六あわせ

価格 280円

いち、にっ、さん…と、突き棒で押し出すとブルブル涼しいゼリーがこんにちは。蜜と抹茶をふりかけて、口の中にツルツル…と、頬張る。甘くなく歯ごたえのある食感で、大満足のゼリーでした。

目次へ

お 風 の オ ア シ ス

だんだん、日差しが強くなってきました！そんな日差しに負けず、テラスで生音楽を聞きながら、ラテンランチを頂きました！

店内は、開放的でゆったりした雰囲気。ランチタイムの慌しさは、一切感じられません。

メニューは豊富でお手頃価格。その中で、私は、パスタランチ（サラダ、パスタ、コーヒー or 紅茶で650円）を注文。トマトソース（牛肉入り）か、クリームソース（シーフード）が選



べます。迷わず、トマトソースのパスタをオーダー。

シェフは、文化交流プロジェクトとして、現地から派遣されているので、本場のラテンアメリカのお料理を楽しむことができますというわけです。

ランチメニューの最後は、コー

生ラ
演テ
奏ン
をラ
聴ン
きチ
なが
ら、

ヒー付き（または紅茶）。お天気の良い日は、テラス席がおすすめ。紫外線なんか気にせず、開放的な空間を味わいましょう！気分は、外国リゾート。仕事や勉強で疲れたとき、ゆっくり、たっぷりのランチを楽しむ。まさに、Cafe Restaurante SANCHO PANZAは、お風のおアシスです。

by Chie Nagashima



もっと詳しく見る

パスタランチ 650円
(サラダ、パスタ、コーヒーor紅茶)

Cafe Restaurante **SANCHO PANZA**



住所：福岡市中央区天神2-4-5
デイトンビル3F

TEL：092-762-4110
営業時間：11:00～23:00

MAP

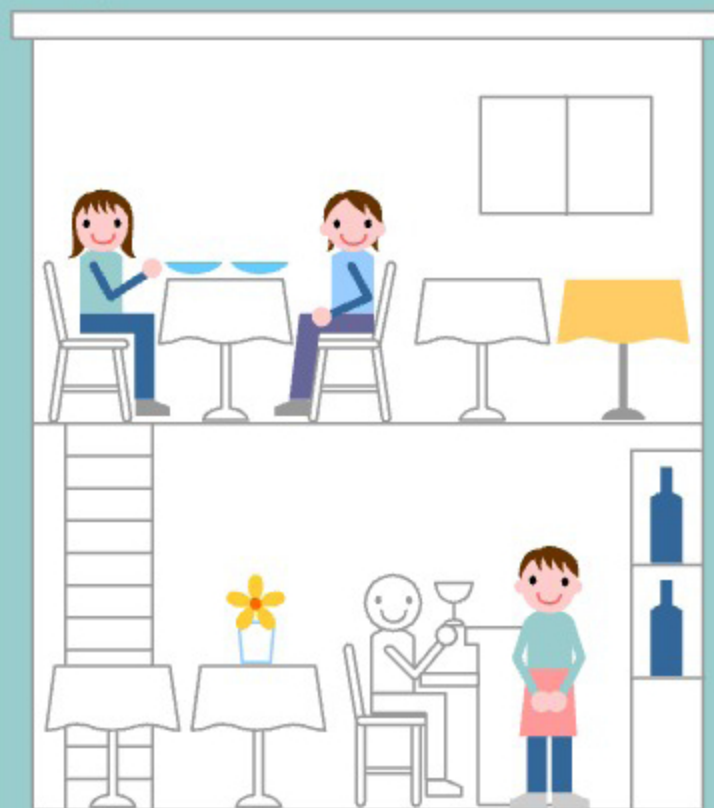
目次へ

● 天神ぶらぶら

『GOOD.B』でうきうきヘルシーランチの巻

どきどきの第1回目です。わびしい食生活に潤いを…ということでお野菜がとっても美味しいと評判の『GOOD.B』にやってきました。

クリックすると右にイラストが出るよ。



MAP

GOOD.B

住所:福岡市中央区大名2丁目1-8

電話:092-721-5336

営業時間:11:00-17:00 (ランチは15:00まで)

18:00-0:00 (日曜日:11:00-21:00)

定休日:月曜日



九州経済調査協会の情報研究部研究員
植木智子さんによる「多様化する九州
の化粧品販売戦略」についての解説。

九州経済調査協会



ひろろんさん しあわせのジंकクス

ゴールドデンウィークに、友達
達が結婚した。彼女の着ている
ウエディングドレスは実は
私が結婚する時に身につけた物。
結婚式には4つの幸せのジ
ンクスがあり、その一つに
「Something Borrow」(共に
分かち合う幸せ・結婚した親
友に何かを借りて身につける
と幸せになれる。)というも
のがある。常々ジंकクスは信
じないタイプのわたしも、こ
んな素敵なジंकクスなら信じ
てみてもいいかな?という気
分になりました。幸せになっ
てね!

みんなの広場



ぴのこさん

このイチゴは来年には。

イチゴ、2箱たっぶりとな
たよ。おいしそうでしょ。
そんなにいっぱい食べきれん
やるって言われたけど、大丈夫。
赤ワインで煮て、コンポート
にしたり、凍らしてシャーベッ
トにしたり、ジューサーでイ
チゴミルク作ったりするんだ。
このイチゴたち、「博多と
よのか」っていう種類のイチ
ゴなんだけど、今年で最後な
んだって。来年からは「あま
おう(甘王)」に変わるんだっ
て。「あかい」「まるい」「お
おきい」「うまい」の頭文字
をとった名前とのこと。こっ
ちも食べてみたいよね。来年
だのしみだなー。

もっと詳しく見る



作品名: Football tribe
作者: 山口 豊



目次へ



▲公式ホームページはこちら

配給:ワーナー・ブラザーズ映画

公開:6/7(土)からAMCチャンネルシティ他にて上映

(映画ライター・渡まち子)

マトリックスの世界感、宗教、思想、神話や文学などに裏打ちされた深遠なもの。それを、映画技術の粋を集めて創られた、スタイリッシュな映像でビジュアル化する。思わず見とれていると、あまりにも唐突にラストがやってきて驚いた。これじゃ、気になってしかたがないじゃないか!ともあれ、レポリユーションズでどう決着をつけるのか、楽しみに待つとしよう。

前作からの登場人物に加え、本作では魅力的な新キャラも多数登場。ゴーストの様な風貌のザ・ツインズや、謎の美女モニカ・ベルッチも気になる。新技術を駆使した型破りとも言える高速道路での大激闘シーンなど見所も満載だ。更に今回は初めてマトリックスの秘密が明らかになる。リローデッドには美しい格闘場面が多数用意されているが、隠れた主役は「扉」。ドアを開けるとそこにはいつも、想像を超えた驚くべき空間が広がっているのだ。

仮想空間マトリックスを支配する人工知能に闘いを挑む主人公ネオ。世界中でメガヒットを飛ばしたシリーズの第2章にあたる本作は、救世主として覚醒したネオの苦悩と、人類と機械の更なるバトルをパワフルに描く。

今回の映画:

マトリックス
リローデッド



※この記事はウェブサイトを「ちよつと」といきシネマカフェ」を運営している映画ライター・渡まち子さんによるコラムです。

column

早耳映画情報

Have a Quick Information of CINEMA



8 Mile

配給:U I P映画

公開:AMCチャンネルシティ13他にて上映中

ラップ音楽界に激震を起こしたトップ・アーティスト、エミネムの半自伝的物語が鮮烈に登場!

コーリング

配給:東宝東和

公開:5/31(土)から天神東宝にて上映

深い愛は、生死を越えた奇跡を呼び覚ます…。
純粋でミステリアスなラブ・ストーリー



トゥー・ウィークス・ノーティス

配給:ワーナー・ブラザーズ映画

公開:中洲大洋他にて上映中

ラブコメスター2人が繰り広げるロマンティックな恋のサバイバル!?

movie



情報提供
カミングスーンTV
COMING SOON...

目次へ

おやじは、ホントはファッションにうるさい。「ゲッ!」「マジかよ!」「信じらんない!」と、娘たちの大ブーイングが飛んできそうだが、ま、ちょっと聞いてください。米国東海岸のアイビリーリーグにかぶれた僕らにとって、ブルックスブラザーズ、ニューヨーカー、J・PRESSあたりは外せないのだが、懐かしい名前が天神に復活している。「VAN」だ。

「付加価値通信網の略ですよ」とか、「あのニューメディアはだめでしたねえ」とか、間抜けなことを言っちゃいけない。「VAN」は、ファッションだけでなく、遊びや音楽や恋にいたるまで、僕らに新しいライフスタイルを提案した。ぶっちゃけた話、「いかにカッコ良く生きるか」を示す、60年代最強の青春バイブルだったのだ。そのココロは「ヤング・アット・ハート」。いつまでも若々しく。ハゲ・デブ・

おやじのアンテナ



短足の「おやじ三重苦」を背負う不肖スカGも、「VAN」を着たら若返るかも。そんなスケベ心を抱きつつ、店内へ。おっ、あるある。棚に鎮座するのは、赤と黒の強烈なロゴをあしらったTシャツ。壁にかかるは、ギンガムチェック風のポロシャツ。60年代のテイストだ。思わず、視線が遠くなる。

「お客さんのように恰幅の良い(はつきり、デブと言いなさい)中年の方が買っていかれますね」。ちょっとくすんだ感じの地味なシャツを手にとると、若い店員が話しかけてきた。ま、この年になると「いかにVAN」って派手なのは、ちょっとね。あくまで、それとなく、さりげなく。分かる人だけが分かれればいい。それがダンティズム。ぶ、ぶわははは。カッコつける前に、このビール腹をなんとかせにゃ。

(スカG)

エスプレッソを片手に

スタッフリレーコラム

幼なじみが結婚する事になった。遊びに行ったり、夜中まで彼氏の話をしたり：寂しくなる気持ちでいっぱいだった。はつきり言って「結婚なんかしないでくれ。私と花の独身を楽しもうてはないか」って思ってたもんね。(これは内緒だけとさっ)

まあそんな気持ちを隠しつつ、彼女の為に夜な夜な「熊のお嬢さんとお嫁さん」の縫いぐるみを作ってあげた。「すみこが裁縫するなんて考えれんね」なんて、友人から感心ながら完成した熊さん夫婦は、

かなりの上出来ぶり。写真なんか撮ったちゃたり。さて当日。友達の電話で目が覚めた。「早朝から何やら。土曜くらい寝させてよね」と、寝ほけ眼で携帯を取ると、「すみこ、スピーチがはじまるよ!」と。そう、私は幼なじみの大事な結婚式を明日だと思っていたのだ。式が始まるまで30分。私の家から会場まで車で30分。えっ?化粧して着替えたら間に合わんやん!ここで、速さの見せ所!(いや、こゝろなどこで披露されても...)。パジャマで車に乗り、中で化粧、髪をアップした。そこまではよかったよ。

スピーチに間に合ってた安心したのも束の間。

「旦那より友達やね」と思わせるはずだったスピーチの紙を忘れたのだ。頭の中は真っ白。(しかも遅れているからね)「もうどうにでもなれ!」と、素直な気持ちをスピーチした。ん!?それがよかったのか?会場は感動の嵐。

親友もウルウル...

日にちを間違ったのはともかく、何だかいいスピーチができてよかったような。そんな親友の結婚式だった。

(すみこ)

